

**令和7年度大学・高専機能強化支援事業  
(支援2：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援)【大学】  
事業概要**

令和7年2月申請時点

**1. 基本情報**

大学名	明治学院大学		
設置区分	私立	学校種	大学
都道府県	東京都	事業期間	令和7年度～令和16年度
申請区分	大学（特例枠）	改組内容	研究科等の設置・増員
事業計画名	明治学院大学大学院 情報数理学研究科の設置		

**2. 事業概要**

明治学院大学初の理系学部として誕生した情報数理学部に接続する形で情報数理学研究科の設置を計画する。情報数理学研究科では、数理を軸とした情報科学を基盤として、量子コンピューティング・生成AI・セキュリティシステム等の境界領域も網羅しつつ、実務経験を持つ企業からの教員の招聘等も通じて、社会のさまざまな場面で活躍できる高度情報専門人材を育成する。これまで明治学院大学が長期に渡り培ってきた国際交流や社会連携基盤、キャンパス周辺地域とのつながり等をさらに発展させ、女子学生、社会人学生、留学生等の確保に取り組む。また、全学の附置研究所である「情報科学融合領域センター」とも連携し、明治学院大学の教育理念である「Do for Others (他者への貢献)」の精神に基づき、情報数理学の力を活用した社会貢献や社会実現における課題解決につながる研究に取り組む。

**3. 情報系組織**

情報系組織の設置・増員計画（赤字は事業対象組織）

課程	組織名	入学定員		設置・増員等時期	設置等後の 主な学位分野
		事業開始時	事業終了時		
博士	情報数理学研究科情報数理学専攻	0	2	R9設置	理学関係
	計	0	2	増員数	2
修士	情報数理学研究科情報数理学専攻	0	15	R9設置	理学関係
	計	0	15	増員数	15
学士	情報数理学部情報数理学科	80	80	R6設置	理学関係
	計	80	80	増員数	0

大学全体の収容定員に占める情報系組織の収容定員の割合

	博士課程	修士課程	大学院計
増員前（R7.4.1時点）	0.0%	0.0%	0.0%
増員後	5.9%	11.3%	9.8%
増分	+5.9%	+11.3%	+9.8%



事業計画名 明治学院大学大学院 情報数理学研究科の設置

基本情報	
改組内容	研究科等の設置・増員
所在地	神奈川県横浜市戸塚区
増員する情報系組織名(博士)	情報数理学研究科情報数理学専攻
入学定員増数及び増員時期(博士)	2名(R9)
増員する情報系組織名(修士)	情報数理学研究科情報数理学専攻
入学定員増数及び増員時期(修士)	15名(R9)

<社会や地域のニーズ・課題>

- 2024年4月に明治学院大学初の理系学部となる情報数理学部を開設し、情報数理学を学ぶ学士課程がスタート
- 諸外国に比べ理工系の学士課程入学者、修士・博士号の取得者(特に女性)の少なさが日本社会における課題となっており、明治学院大学としてもこれらの社会的要請に応えることが高等教育機関としての責務であると考え
- 160年以上にわたる長い大学の歴史と伝統、キャンパスの立地や周辺地域とこれまで作り上げてきた関係性を生かしながら、文系学部卒業生を含む社会からのニーズや明治学院大学へ進学を希望する層の需要に応える

<研究科等の体制強化の概要・コンセプト・特徴など>

- 急速に進化・発展する現代の先端情報技術のなかで、数理(数学)がその学問と技術を支える普遍的要素と捉え、教育・学問体系の基軸と位置付ける
- 単なる知識や情報技術の修得だけではなく、明治学院大学の教育理念“Do for Others(他者への貢献)”の精神を堅持し、これからの情報科学を人と社会のために役立てることができる教育と研究を行う
- 情報科学融合領域センターを一つの要として、既存の人文科学系・社会科学系の大学院と密に連携し、明治学院大学全体の研究水準とそのプレゼンスを高める

<教育内容・育成する人材像>

- 「数理」を軸とした情報数理学を基礎として、量子コンピューティング・生成AI・セキュリティシステム等の境界領域も俯瞰しつつ、社会のさまざまな場面で活躍できる高度な能力を持つ人材を育成
- 博士前期課程では、幅広い数理及び情報科学に関する素養と学識を基盤にしなが、社会の様々な支援や研究の場で活躍できる高度専門職業人の養成
- 博士後期課程では、高度な研究能力を備えた高度専門職業人の養成、情報数理学の基礎的研究、実践的研究、および両者を統合した研究を独立して行う力を持つ企業における研究開発人材及び大学等の教員・研究者の養成

<初中段階・他大学・高専・企業・自治体等との連携>

- 学部の広報活動とも連動し、出張講座や研究室訪問、研究紹介セミナー等の提供
- 「神奈川県内の大学間における学術交流協定」等の大学間コンソーシアムへの参画と、指導教員を通じた近隣大学・連携協定大学との共同研究推進
- 「産学連携講座」や「インターンシップ」科目を通じた実務経験のある教員等の招聘
- 横浜市・神奈川県内のIT・製薬企業等や自治体と連携し、横浜キャンパスの立地を生かした小中学校向け情報教育の実施

<女子学生、社会人学生、留学生等の確保>

- 大学生、大学院生、社会人、企業等へのアンケート調査でニーズを測りつつ、大学院設置構想を幅広く広報する
- 女子学生も修学しやすいキャンパス環境の整備(文系学生も含めた男女比率(4:6)の維持、セキュリティにも配慮した新設校舎整備等)
- ジェンダーバランスに配慮した「メンター制度」による研究指導体制
- 米国カリフォルニア大学との35枠の交換留学枠を活用した留学生の受け入れ
- 横浜キャンパスの立地を生かした社会人学生や留学生の受け入れ
- オンライン授業等の活用による履修の自由度・利便性の向上
- 各種研究助成金・奨学金等の拡充

連携組織の概要

